

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

| | |
|-------|-----|
| 都道府県名 | 埼玉県 |
|-------|-----|

学校の概要(平成15年4月現在)

| | | | | | | |
|-----|-----------|-----|-----|------|-----|----------------|
| 学校名 | 鴻巣市立鴻巣中学校 | | | | | |
| 学 年 | 1年 | 2年 | 3年 | 特殊学級 | 計 | 教員数 |
| 学級数 | 7 | 7 | 7 | 3 | 24 | 42 (加配3を含む) |
| 生徒数 | 243 | 246 | 252 | 12 | 753 | |

研究の概要

1. 研究主題

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
 ~少人数指導による数学科・英語科の取り組みを中心として~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1学年～3学年 数学科・英語科
 (生徒の理解度に差が出やすく、少人数指導を実施することで個の学力向上が期待できるため)

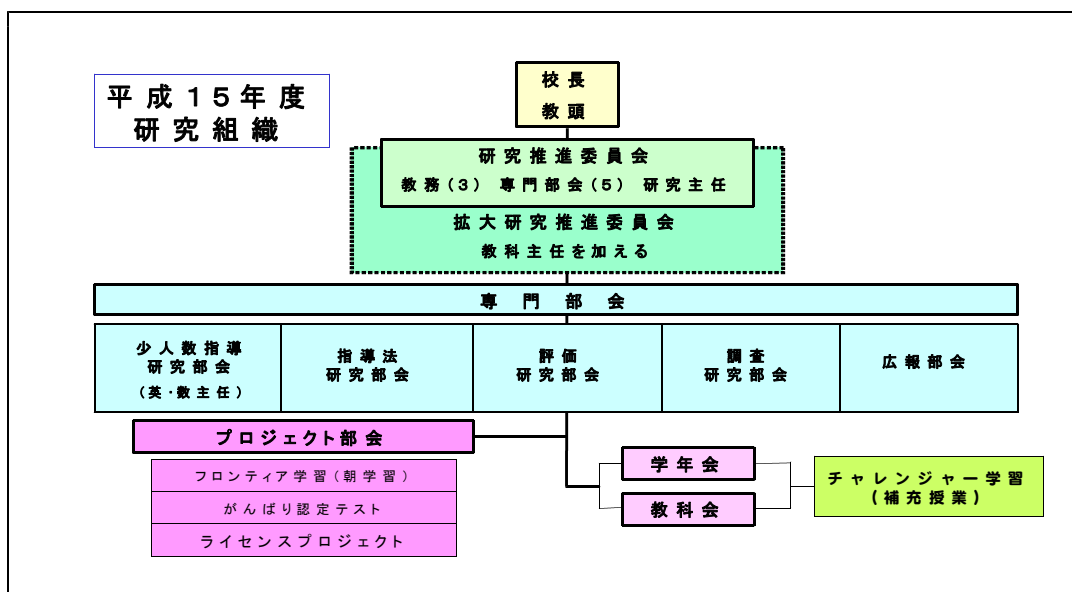
(2) 年次ごとの計画

| | |
|--------|--|
| 平成14年度 | <p>テーマ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ~少人数指導による数学科・英語科の取り組みを中心として~</p> <p>仮説 「生徒の意欲・関心や習熟度によって、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫・改善すれば、生徒は確かな学力を身につけるであろう。」</p> <p>研究内容・方法 ・習熟度別少人数指導における学習指導体制の工夫・改善 ・習熟度別少人数指導における評価方法の工夫・改善</p> |
|--------|--|

| | |
|--------|---|
| 平成15年度 | <p>テーマ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ~少人数指導による数学科・英語科の取り組みを中心として~</p> <p>仮説 「生徒の意欲・関心や習熟度によって、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫・改善すれば、生徒は確かな学力を身につけるであろう。」</p> <p>研究内容・方法 ・習熟度別少人数指導における学習指導法の工夫・改善 ・習熟度別少人数指導における教材等の工夫・開発 ・指導と評価の一体化を目指した評価の工夫・改善</p> |
|--------|---|

| | |
|--------|---|
| 平成16年度 | <p>テーマ 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ~少人数指導による数学科・英語科の取り組みを中心として~</p> <p>仮説 「生徒の意欲・関心や習熟度によって、個に応じたきめ細かな指導方法を工夫・改善すれば、生徒は確かな学力を身につけるであろう。」</p> <p>研究内容・方法 ・習熟度に適応した教材の工夫・開発 ・指導と評価の一体化を目指した効果的な評価の工夫・改善 ・研究成果の客観的データの解析及び研究成果のまとめ</p> |
|--------|---|

(3) 研究推進体制



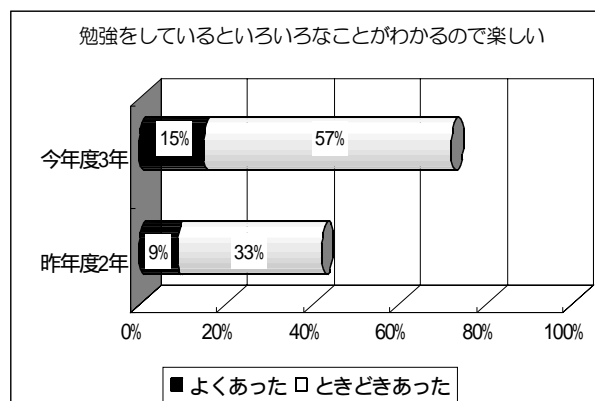
平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 学習意欲の向上

本校の特色である「少人数指導における習熟度別学習」については、3年間の実践の結果、すでに指導体制として定着したと言える。生徒もこの学習スタイルを積極的に受け入れ、学習意欲の向上とともに学習効果もあがっている。

また、全教科を通して、生徒はわかる喜びを感じながら真剣に学習に取り組む姿勢が見られ、予想以上に学習意欲の望ましい向上が図られた。



(2) 学力の向上

校内定期テスト、がんばり認定テスト（本校独自の基礎力の定着を図る学習テスト）、英検、数検の合格状況、全国規模の民間テストの結果を総合的に考察すると生徒の学力の向上が確認できた。

(3) 生徒と教員との信頼関係の深化

「少人数指導による習熟度別学習」を実践してから、教員が一人一人の生徒に

関わる機会と時間が大幅に増えた。その結果、生徒と教員との信頼関係が深まり、真剣な中にもなごやかな学習が成立している。一斉授業では、手を上げない生徒も、間違いを恐れず伸び伸びと挙手するなど、楽しげな授業が展開している。

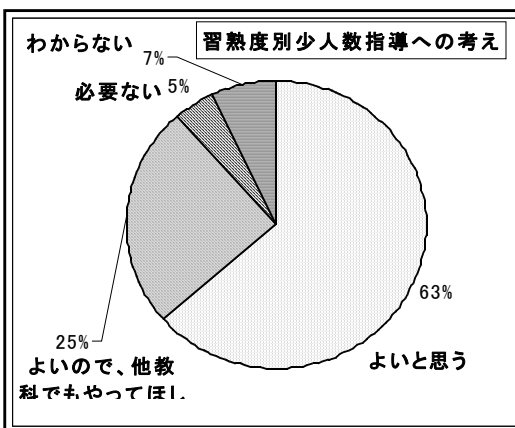
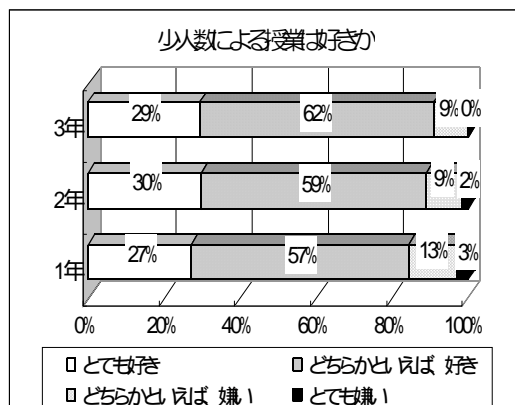
(4) 学校全体の落ち着き

「中学校教育の生命線は生徒指導である」特に「少人数指導による習熟度別学習」の実践以降、学校全体の生徒指導状況が驚くほどに落ち着いた。生徒と教員との信頼関係が深まった結果、生徒は落ち着いた環境の中で安心して学習をしている。

「少人数指導における習熟度別学習」は、生徒指導上でも、信頼関係を深める観点でも抜群の効果を持つものであることがわかった。

(5) 保護者からの信頼の高まり

「学校が変わった」「先生方が熱心に指導してくれる」「先生方が生徒との信頼関係を大切にしてくれている」等と保護者が教員に信頼を寄せてくれている。「少人数指導における習熟度別学習」についても賛同が多数を占め、保護者の信頼の高まりとともに、生徒のがんばりが相乗効果となって学校に勢いと活力を与えてくれている。



2. 今後の課題

- (1) 教材開発の必要性
「少人数指導における習熟度別学習」を効果的に実施するためには、コ・ス別（習熟度）に応じた教材の開発が必要である。
- (2) 指導と評価の一体化
診断的評価、形成的評価、総括的評価などの評価活動をさらなる工夫と充実、指導と評価の一体化に向けた研究の地道な継続が必要である。
- (3) コンプレックスや差別意識の払拭のために
「少人数指導における習熟度別学習」への誤解による、生徒間のコンプレックスや差別意識を払拭するために、今後とも啓発活動を積極的に継続し、一人一人の個性や個人差を尊重し認めあう道徳教育にさらに力を入れていく。
- (4) 教員の指導力の向上
「少人数指導による習熟度別学習」を含め個に応じた学習指導を生かすためには、「一人一人の教員の指導力」が重要である。この研究を通して一人一人の教員の指導力をさらに向上させたい。

学力把握のための学校としての取組

- ・ 生徒及び教師、保護者の意識調査（アンケート）
- ・ 定期的な基礎学力の調査（英語・数学：民間の調査機関テスト）
- ・ 定期テスト（年5回）
- ・ 英語検定試験及び数学検定試験
- ・ 学力定着確認テスト（「がんばり認定テスト」）
- ・ 教育課程実施調査報告書との比較テスト

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成 14 年度鴻巣市教育委員会委嘱中間授業研究会
- ・平成 15 年度南部地区学力向上フロンティアスクール指定校公開授業研究会
- ・平成 15 年度 第 1 回埼玉県学力向上推進協議会実践発表
- ・平成 15 年度北本市中堅教員研修会講演
- ・平成 15 年度埼玉英語教育研究会実践発表
- ・平成 15 年度南部地区公立小・中学校等校長研修会研究発表
- ・第 27 回関東甲信越英語教育学会実践発表
- ・学校ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~kochu/>
- ・「学力向上フロンティアニュース」
- ・「少人数指導による習熟度別学習 Q&A」(パンフレット)
- ・尚、本校への訪問校及び資料送付校は北海道、青森県、秋田県、香川県、沖縄県から、また県内からも多数の中学校から反響を頂いています。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15 年度からの新規校 14 年度からの継続校
- 【学校規模】 3 学級以下 4 ~ 6 学級
 7 ~ 9 学級 10 ~ 12 学級
 13 ~ 15 学級 16 学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T . T による指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他(複式学級)
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無